

趣旨

- 基本戦略に掲げる施策のうち、北海道の人口減少対策の中核として、戦略の推進期間を通じて政策資源を集中投入し、重点的に展開する施策群として設定

設定の考え方

- 基本戦略に位置づけられる施策の効果的な展開を通じて、対策の着実な推進を図るため、政策間の十分な連携はもとより、課題の緊急性等も考慮

検討の視点

- ア 地域創生の根幹をなす「まち」「ひと」「しごと」の3つの柱に対応
- イ 北海道総合計画の「政策展開の基本方向」(「1 潜在力発揮による成長」、「2 誰もが可能性を發揮できる社会と安全・安心な暮らし」、「3 各地域の持続的な発展」)を踏まえる
- ウ 第2期戦略の改訂以降の社会経済情勢の変化(デジタル化や脱炭素化の加速、エネルギーの安定供給、食料・経済の安全保障に関する意識の高まり等) に対応
- エ 第2期戦略検証報告において抽出された8つの課題(①少子化、②女性・若年層の転出超過③人口の札幌一極集中、④持続可能な地域づくり、⑤潜在力発揮による成長、⑥人材確保、⑦外国人の受入、⑧誰もが活躍できる社会)に対応

重点戦略プロジェクト設定の枠組み

<めざす姿> 「一人ひとりが豊かで安心して住み続けられる地域を創る」

- ・ 自然減・社会減対策の両面から粘り強く取り組む、人口減少のスピードの「緩和」
- ・ 現在より少ない人口においても活力ある社会を構築する、人口減少社会への「適応」

まち

1

誰もが安心して暮らせる
まちづくりプロジェクト

- 安心して子どもを産み育てられる環境の整備
- 若者、女性、高齢者、障がい者など多様な人材の活躍
- 将来を見据えた地域コミュニティの維持
- 健やかに暮らせる医療・福祉の充実
- 地域を支える持続的な交通ネットワークの構築
- 自治体間の広域的な連携の促進 等

ひと

2

ひとを育み、受け入れ、未来につなぐ
ひとづくりプロジェクト

- 未来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実
- 産業人材の育成・確保と雇用の受け皿づくり
- 安心して働ける就業環境の整備
- 移住・定住の促進
- 外国人材の受入拡大と共生
- 関係人口の創出・拡大、二地域居住の促進
- 多様な主体との連携体制の構築 等

しごと

3

可能性を高め、成長する
しごとづくりプロジェクト

- 道産食品の高付加価値化及び販路・輸出拡大
- 農林水産業の持続的成長
- 観光立国北海道の実現
- ゼロカーボン北海道の推進とGX関連産業の振興
- 本道の強みを活かした産業の創出・振興
- 地域経済を支える中小・小規模企業の振興 等

4

デジタル

未来技術を育て、活かし、広める
デジタル化推進プロジェクト

- 次世代半導体などデジタル関連産業の集積促進
- 地域の可能性を広げるデジタル化に向けた環境整備 等

重点戦略プロジェクト ①

まち

1. 「誰もが安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト

- ・ 今後も長期的に人口減少が続くことが見込まれることを踏まえ、地域の暮らしを支える医療・福祉、教育、商業、交通などの都市機能や生活必需サービスの持続を図るとともに、ライフステージに沿った切れ目のない支援の強化や働き方など社会全体の構造や意識を変えるとといった少子化対策の加速に向けた取組を進める。

プロジェクトの
ポイント

地域の暮らしを支える日常生活機能の維持・確保

+

女性や若者が働きやすく、活躍できる環境づくり

=

一人ひとりの希望がかない
安心して暮らし続けられる
北海道の実現

【主な施策】 ※ □～主に「緩和」の観点、■～主に「適応」の観点

- 安心して子どもを産み育てられる環境の整備
- 若者、女性、高齢者、障がい者など多様な人材の活躍
- 将来を見据えた地域コミュニティの維持
- 健やかに暮らせる医療・福祉の充実
- 地域を支える持続的な交通・物流ネットワークの構築
- 様々な自然災害リスクなどに対応した安全・安心な北海道づくり
- 地域の可能性を広げるデジタル化に向けた環境整備
- 自治体間の広域的な連携の促進
- 人口減少対策に関する札幌市との連携強化

重点戦略プロジェクト ②

2. 「ひとを育み、受け入れ、未来につなぐひとづくり」プロジェクト

ひと

- ・人口減少下における豊かな人生を切り拓くための教育や、より良い学びための環境の整備、地域創生の担い手となる人材の育成等を進めるとともに、ニーズに応じた産業人材の育成・確保や誰もが安心して働ける環境づくり、さらには、移住・定住の促進や地域おこし協力隊の確保・定着などを通じた多様な主体の連携・協働による、持続可能な地域づくりに向けた取組を進める。

プロジェクトの ポイント

ニーズに応じた産業人材の育成、
将来の北海道づくりを担う若い世代等の育成
+
誰もが安心して働ける環境づくり、
移住・定住の促進・外国人材の受入拡大と共生等

=

本道が将来にわたり発展
するための「ひとづくり」
や「多様な人材の確保」

【主な施策】 ※ □～主に「緩和」の観点、■～主に「適応」の観点

- 未来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実
- グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成
- 産業人材の育成・確保と雇用の受け皿づくり
- 安心して働ける就業環境の整備
- 移住・定住の促進
- 外国人材の受入拡大と共生
- 関係人口の創出・拡大、二地域居住の促進
- 多様な主体との連携体制の構築
- スポーツによる地域の振興
- 北海道独自の自然・歴史や文化の発信

重点戦略プロジェクト ③

3. 「可能性を高め、成長するしごとづくり」プロジェクト

しごと

- ・人口減少下においても、本道経済の成長を図っていくため、国際情勢に適切に対応しながら、食やエネルギーといった本道のポテンシャルを最大限に発揮し、半導体・デジタル関連産業の振興など新たな需要を取り込むとともに、デジタル化による生産性向上や高付加価値化のほか、中小・小規模企業の経営基盤の強化など、足腰の強い地域経済の構築に向けた取組を進める

プロジェクトの
ポイント

国際情勢にも対応した潜在力を活かした産業振興

+

=

生産性の向上など足腰の強い地域経済の構築

人口減少下においても力強く
経済成長を実現し、発展する
北海道の実現

【主な施策】 ※ □～主に「緩和」の観点、■～主に「適応」の観点

- 道産食品の高付加価値化及び販路・輸出拡大
- 農林水産業の持続的成長
- 観光立国北海道の実現
- 航空ネットワークや北海道新幹線等を活用した新たな人の流れの創出
- 次世代半導体などデジタル関連産業の集積促進
- ゼロカーボン北海道の推進とGX関連産業の振興
- 海外からの投資促進
- 本道の強みを活かした産業の創出・振興
- 地域経済を支える中小・小規模企業の振興

重点戦略プロジェクト④

デジタル

4. 「未来技術を育て、活かし、広めるデジタル化推進」プロジェクト

- ・ 広大な面積や広域分散型といった地域特性を有する本道においては、より一層のデジタル技術の活用等による生産性の向上や日常生活に必要なサービスの維持を図る必要があることから、豊富な再生可能エネルギーを活用したデータセンター等の集積を推進するとともに、半導体関連産業の振興など新たな需要を取り込みながら、DX関連企業の集積や、産業やくらしのスマート化の促進に向けた取組を進める。

プロジェクトの
ポイント

デジタル関連産業の一大拠点の形成

+

=

産業やくらしにおけるデジタルの実装化

「デジタルの好循環」により
くらし・経済が発展する
北海道の実現

【主な施策】 ※ □ ~ 主に「緩和」の観点、 ■ ~ 主に「適応」の観点

- 地域の可能性を広げるデジタル化に向けた環境整備
- 未来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実
- 健やかに暮らせる医療・福祉の充実
- 地域経済を支える中小・小規模企業の振興
- 地域を支える持続的な交通・物流ネットワークの構築
- 次世代半導体などデジタル関連産業の集積促進
- 農林水産業の持続的成長
- 観光立国北海道の実現
- ゼロカーボン北海道の推進とGX関連産業の振興